

第十六回

熊本城（熊本県熊本市）

「愛媛若葉」

主宰

高岡

周子

選

熊本市賞一句

たちこむる蜜柑の香り靈巖洞

れいげんどう

東京都荒川区

田中

和明

特選三句

中秋の一夜限りの月の草

熊本県熊本市

角田

光明

くまもとじょうはるのけしきがいいんだよ

山梨県甲斐市

林

和弥

島崎の水遺産ゆく夏の水

熊本県熊本市

丸山本頭火

投句総数

一七句

開函日

平成二十六年十月三十一日

第十六回

法隆寺周辺（奈良県斑鳩町）

「愛媛若葉」 主宰 高岡 周子 選

奈良・斑鳩町賞一句

どようぼしぐぜ かんのん ひぶつ

土用干救世観音を秘仏とし

大阪府東大阪市 中森 美代子

特選三句

弟の胸よりはがす甲虫

かぶとむし

奈良県北葛城郡 荻野 鷹生

あおばやみもうどうけん
青葉闇盲導犬の鈴鳴らし

奈良県生駒郡 田子 美地子

すいえん しるべ
水煙は標のひとつ鳥渡る

奈良県天理市 松田 吉上

投句総数 一六二 句

開函日 平成二十六年十月三十一日

第十六回

博物館明治村（愛知県犬山市）

「愛媛若葉」

主宰

高岡

周子

選

子規はいく賞三句

あきなす　こん

も

秋茄子の紺の深さを擦ぎにけり

愛知県名古屋市

石井

耿太

七宝の御座所の欄間冬隣

しっぽう

ごぎしよ

らんまふゆとなり

愛知県春日井市

野田

公雄

御料車に目をうばわれる秋の風

ごりようしや

愛知県小牧市

原

博彦

特選三句

ひが んばなお

彼岸花折れば幼きころの音

岐阜県土岐市 瀬瀬 伸子

夕焼けに葉鶏頭また赤くなり

愛知県春日井市 鈴木 邦保

ぼうえん

望遠のおばすてにはゆる紅葉かな

長野県東筑摩郡 渡辺 俊介

投句総数 八三句

開函日 平成二十六年十月三十一日

第十六回

子規庵（東京都台東区）

「愛媛若葉」

主宰

高岡

周子

選

特選三句

くしやみして子規の病間の親しかり
びようま した

神奈川県相模原市 佐分 靖子

朱筆なる選評拝す子規忌かな
しゅひつ せんぴようはい

埼玉県狭山市 古谷 彰浩

一升びんに糸瓜の水のまだ少し
へちま

千葉県松戸市 良知 悦郎

投句総数 九九 句

開函日 平成二十六年十月三十一日

第十六回

記念艦「三笠」(神奈川県横須賀市)

「愛媛若葉」 主宰 高岡 周子 選

特選三句

戦友を想う甲板秋の宵 かんぱん よい

東京都足立区 草野 武史

秋雨に濡れて三笠の神神し

愛知県瀬戸市 榊山 潤

空高く歴史の重き三笠かな

東京都板橋区 杉谷 佳美

投句総数 一六句

開函日 平成二十六年十月三十一日

第十六回

大和ミュージアム（広島県呉市）

「愛媛若葉」

主宰

高岡

周子

選

特選三句

あなごめし亡き祖母思いて完食す

宮城県仙台市 新井 枝里子

戦争を語り初めし木の葉髪

兵庫県赤穂市 猪谷 信子

ため池に小鳥さそわれ水遊び

岡山県玉野市 福井 なな

投句総数 四三句

開函日 平成二十六年十月三十一日

第十六回

歴史博物館・漱石公園（東京都新宿区）

「愛媛若葉」

主宰

高岡

周子 選

特選三句

しらかば じゅひ

白樺の樹皮ひらひらと秋の風

東京都新宿区

大畑

雅敬

ねこつか

いちじゅ

猫塚の裏の一樹の蟬時雨

東京都新宿区

小林

吉一

そうせきさんぼう

行く秋の漱石山房ひとり守る

埼玉県鶴ヶ島市

世良

万里子

投句総数

六六句

開函日

平成二十六年十月三十一日

第十六回

鶴ヶ城（福島県会津若松市）

「愛媛若葉」 主宰 高岡 周子 選

特選三句

夏の夜に寂じやくと構へる天守閣

神奈川県茅ヶ崎市 岡田 染八

こちよし飯盛山の夏の風
いいもりやま

栃木県芳賀郡 高橋 義博

鶴ヶ城天守に響くいなびかり

東京都日野市 古森 奈緒美

投句総数 九四句

開函日 平成二十六年十月三十一日

第十六回

東松山市（埼玉県東松山市）

「愛媛若葉」

主宰

高岡

周子

選

特選三句

露地^{ろじ}の文字目立ちし野菜冬仕度^{ふゆじたく}

埼玉県熊谷市 国田 育子

手の皺^{しわ}も深く刻みし米作り

埼玉県東松山市 中村 美和子

沈黙を呑み込むやうに芒揺る^{すすきゆ}

埼玉県熊谷市 吉野 日出美

投句総数 三九 句

開函日 平成二十六年十月三十一日